

5年

国語

点字と手話

5年 組

名前

①①～⑥の点字と手話について、文がつながるよつにそれぞれ線で結びましょう。

① 点字は、打ち出した点の	① 考案され、一九〇一年に	① 表す指文字を使います。
② 六点で文字を表す点字は	② 五十音を手の指で	② 世界中で使われています。
③ 日本でも日本語点字が	③ 組み合わせによって	③ 成り立つ言語です。
④ 手話は、手の形、位置、動きと	④ 六点式点字と言い	④ 公式の文字とされました。
⑤ 「楽しい」は両手のてのひらを	⑤ 表情や身ぶりて	⑤ 二回ほど上下に動かします。
⑥ 人の名前や地名を表すときは	⑥ むねに当てこらうつに	⑥ 文字を表す方法です。

②①～⑧に当てはまる言葉を□から選んで( )に書きましよう。

- ① 夏の森は(ひっそり)として静かだ。
- ② チェロはひくほどに音が(深く)なっていく。
- ③ 音は天に向かって(のびやかに)広がっていった。
- ④ 木の実をひろってはポケットに(つめこんだ)。
- ⑤ ツバメが楽しそうに(飛びかっ)ている。
- ⑥ 熱い思いがむねの中を(かけぬけて)いった。
- ⑦ 秋の森は、葉が赤や黄金に(かがやいて)いる。
- ⑧ 春の森に川の(せせらぎ)が聞こえる。

飛びかっ。深く。かがやいて  
つめこんだ。ひっそり。せせらぎ  
のびやかに。かけぬけて

同じ言葉は  
一度しか  
使えないよ。



③①～⑤は、二つの熟語の読みがながバラバラになっています。( )に漢字で二つの熟語を書きましよう。

- ① れへきんしか (歴史) (変化)
- ② ざかいさもんつ (ざかい) (財産) (貨物)
- ③ えはいよんだうん (えい) (栄養) (判断)
- ④ せそきつにぎょう (せそ) (責任) (卒業)
- ⑤ おへいじふきくん (へい) (往復) (平均)

はじめの  
二文字が  
ヒントね。

